

地域計画

策定年月日	令和7年2月27日
更新年月日	()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	朝来市 (282251)
地域名 (地域内農業集落名)	朝来市朝来(中川)地域 (納座区)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	21.64 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	15.05 ha
② 田の面積	17.88 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	3.76 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	3.44 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0.00 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	4.41 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	4.41 ha
(備考)	

- 注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
 2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。
 3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
 4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
 5:(参考)の区域内における70才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
 6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

当地区農業者平均年齢は、71.5歳と高齢化しており、農業意欲はあっても体力的に農業従事困難者が年々増加し、さらには、その後継者は皆無に等しく、遊休農地のさらなる増加が懸念される。
 新たな作物を検討するが、高齢化とその労力及び機械化への投資等から困難であり、持続的な農地の活用には、ある程度機械化出来ている水稻作付の継続が妥当である。
 課題として、畦畔の除草作業が大きな負担となっており、軽減策を検討する必要がある。また、一部の耕区において「水利問題」を有しており、水利と関係のない畑作転用等を検討する必要もある。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

当地区の主要作物は、水稻であり、今後も継続していくが、課題である畦畔除草の負担について委託者に金銭的負担を求め、受託者の他労力に活用可能な資金に充てるなど受委託契約を当地区独自の施策として取り入れていく。
 また、将来的には、他地区の大規模農業者への委託や農地中間管理機構の活用を図り農地を維持管理していく。
 また、水利問題を有する耕区においては、当地区住民では体力的な面から成しえないが、他地区からの意欲ある耕作者によって特産品である「朝倉さんしょ」などへの転作を行い、遊休農地の抑止及び削減を図っていく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

地区外の意欲ある農業者による水稻以外の農産物生産活動への支援や他地区の大規模農業者への委託、農地中間管理機構の活用を図り、農地の維持管理を行う。

(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	— %	将来の目標とする集積率	50 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
他地区の農業者、大規模農業者への委託を進めるため、区独自の施策を構築し集団化を進める。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとすべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
大規模農業者等に担ってもら体制(独自施策)を整えるための協議が必要がある。
(2)農地中間管理機構の活用方法
農地中間管理機構を活用する基本方針のもとで、農地所有者の意向と調整を行いながら進める。
(3)基盤整備事業への取組
当地区は、昭和55年に圃場整備を実施しているが、今後については、直面した時点(予想される時点)で、その必要性について検討、協議を行うこととする。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
市やJA等と連携しながら、他の経営体の招聘を図っていく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
省力化のため、各事業体の力を活用して負担軽減を図っていく。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

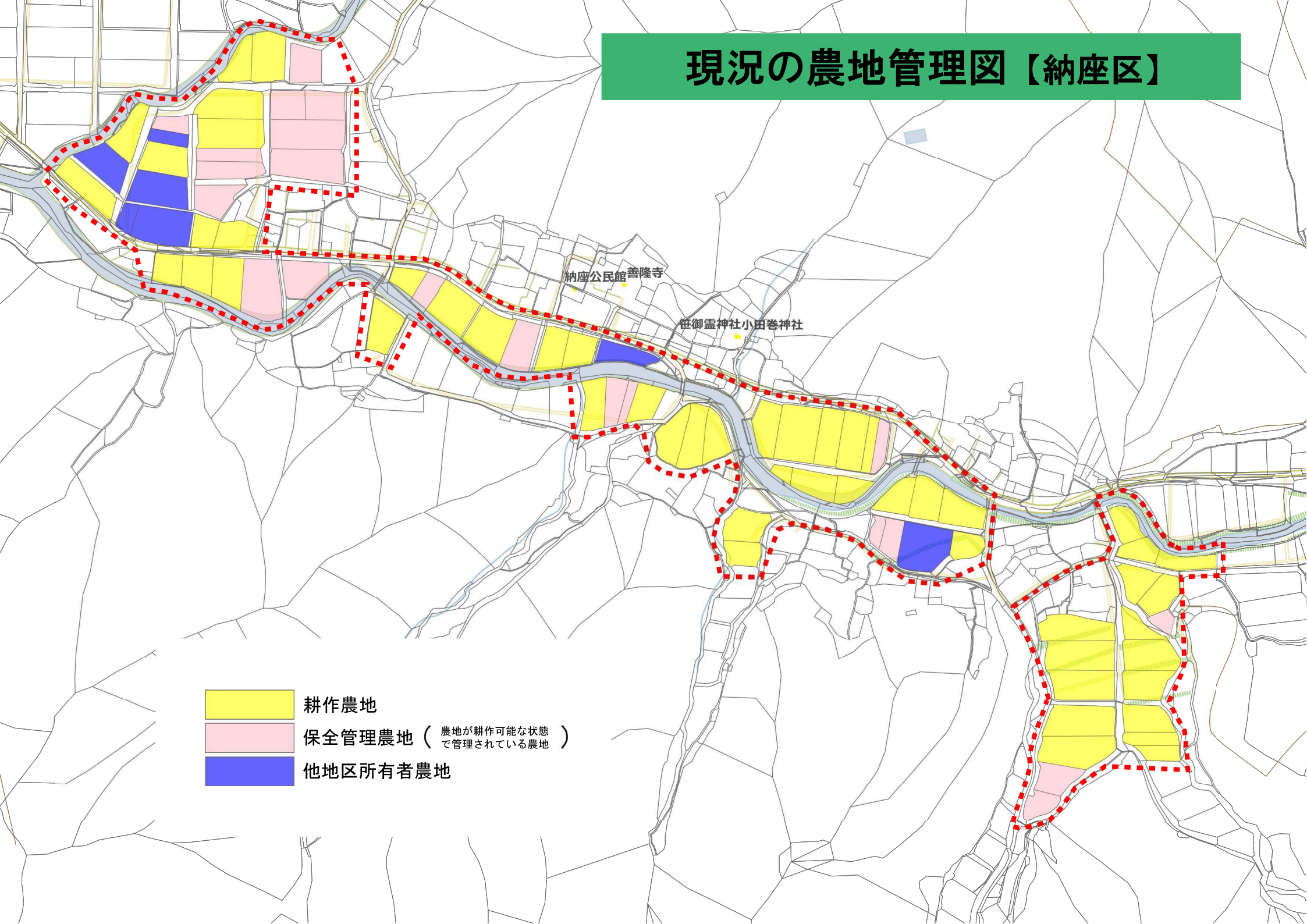
【選択した上記の取組内容】




- ①地域による鳥獣被害対策(補修、点検等)を行う。
- ③農業者の負担軽減のため、スマート農業(ラジコン草刈り機など)の導入を図る。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

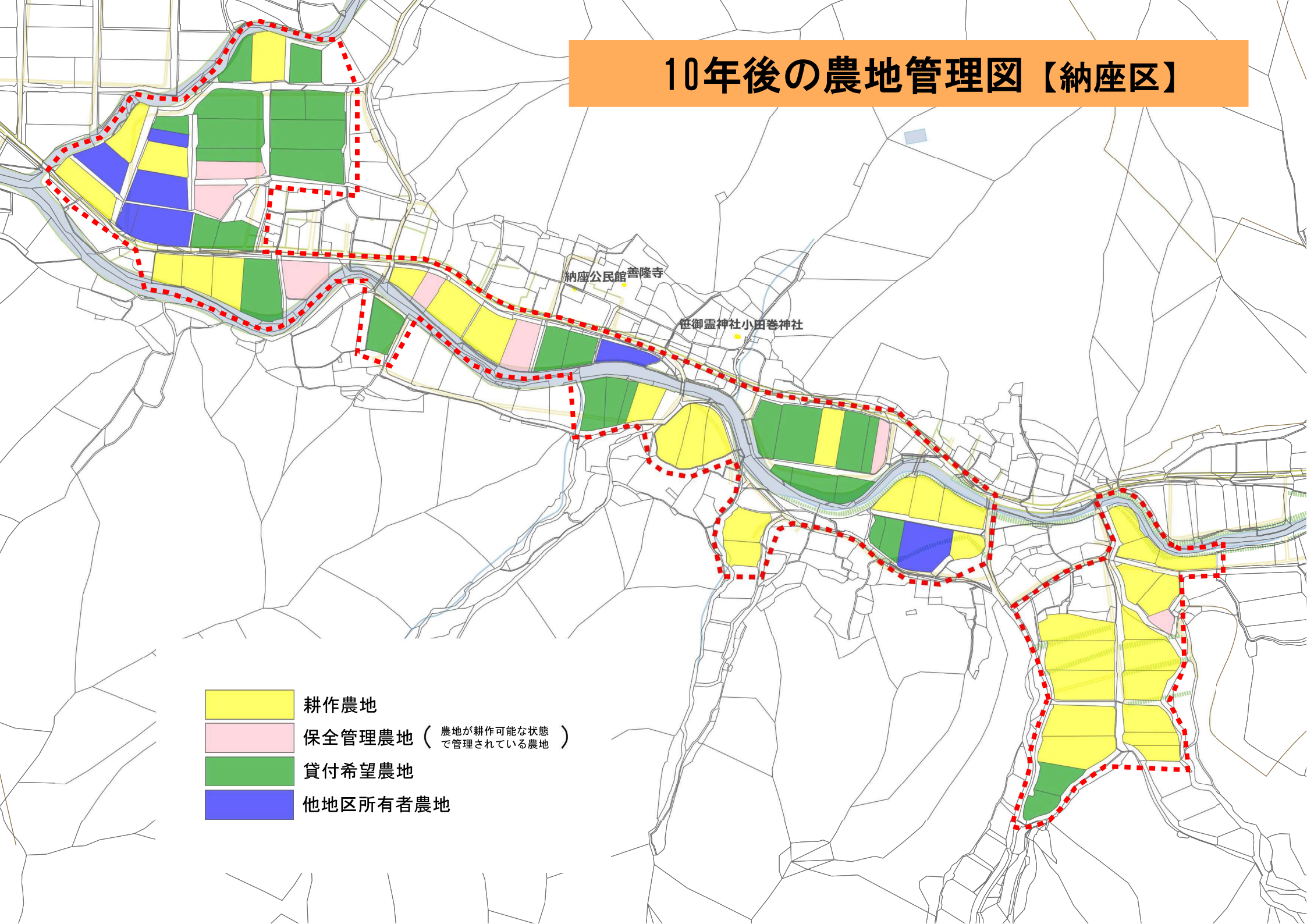
属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
利用者	その他農業者 A	水稲	0.22 ha	ha	水稲	0.22 ha	ha		
利用者	その他農業者 B	野菜等	0.34 ha	ha	野菜等	0.12 ha	ha		
利用者	その他農業者 C	野菜等	0.34 ha	ha	野菜等	0.14 ha	ha		
利用者	その他農業者 D	野菜等	0.11 ha	ha	野菜等	0.11 ha	ha		
利用者	その他農業者 E	野菜等	0.55 ha	ha		ha	ha		
利用者	その他農業者 F	野菜等	0.03 ha	ha		ha	ha		
利用者	その他農業者 G	水稲	0.91 ha	ha	水稲	0.40 ha	ha		
利用者	その他農業者 H	野菜等	0.10 ha	ha		ha	ha		
利用者	その他農業者 I	水稲	0.65 ha	ha	水稲	0.65 ha	ha		
利用者	その他農業者 J	野菜等	0.22 ha	ha	野菜等	0.14 ha	ha		
利用者	その他農業者 K	野菜等	0.13 ha	ha		ha	ha		
利用者	その他農業者 L	水稲	0.31 ha	ha	水稲	0.09 ha	ha		
利用者	その他農業者 M	水稲	0.90 ha	ha	水稲	0.36 ha	ha		
利用者	その他農業者 N	水稲	0.59 ha	ha	水稲	0.21 ha	ha		
利用者	その他農業者 O	水稲	0.23 ha	ha	水稲	0.23 ha	ha		
利用者	その他農業者 P	水稲	2.06 ha	ha	水稲	2.06 ha	ha		
利用者	その他農業者 Q	水稲	0.62 ha	ha	水稲	0.31 ha	ha		
利用者	その他農業者 R	水稲	0.37 ha	ha	水稲	0.20 ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	18経営体		8.68 ha	0.00 ha		5.24 ha	0.00 ha		





現況の農地管理図【納座区】



-  耕作農地
-  保安全管理農地（農地が耕作可能な状態で管理されている農地）
-  他地区所有者農地

10年後の農地管理図【納座区】



-  耕作農地
-  保安全管理農地 (農地が耕作可能な状態で管理されている農地)
-  貸付希望農地
-  他地区所有者農地